



＜目次＞特別研究プロジェクト（平成24年度最終事業報告書）：地域歴史遺産保全活用教育研究を基軸とした地域歴史文化育成支援拠点の整備

(Citation)

地域歴史遺産保全活用教育研究を基軸とした地域歴史文化育成支援拠点の整備, 特別研究プロジェクト（平成24年度最終事業報告書）

(Issue Date)

2013-03-31

(Resource Type)

research report

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005280>



文部科学省採択・特別研究プロジェクト
「地域歴史遺産保全活用教育研究を基軸とした
地域歴史文化育成支援拠点の整備」
平成 24 年度・最終事業報告書

—目 次—

はじめに	1
第1章 地域歴史文化を担う人材育成事業	3
(1) おおよその方針	3
(2) まちづくり地域歴史遺産活用講座試行プログラムの実施	3
① 2012 年度の取り組み	3
神戸市	4
丹波	5
古文書解読初級講座	6
② 3 年間の取り組みを通じて	6
活用講座の成果と課題	6
人材育成の取り組みの位置づけと意義	7
(3) 『地域歴史遺産活用ハンドブック 兵庫県版』の刊行と論集づくり	8
(4) 兵庫県教育委員会との協力	8
第2章 全県的な史料群データベースの整備事業	9
【1】3 つの目標	9
【2】3 つの目標に向けての 5 つの事業目的	9
【3】5 つの事業目的のもと 3 年間で展開した 7 つの事業	9
(1) 先進的な取り組みの視察	9
(2) 兵庫県下史料目録所蔵機関の把握調査と目録複写事業	10
(3) 兵庫県下の自治体地域史料担当職員への聞き取り調査	11
【調査結果】	12
【分析】	13
(4) 迅速な公開に向けての史料群調査方法の研究	15
(5) パイロット事業として、戦前期の地方新聞の画像デジタル化作業	15
(6) 作成された史料群目録を市民も利用できる環境の整備	16
(7) 地域歴史文化連携コンソーシアム研究会の開催と兵庫県との協議	16
(8) 『神戸又新日報』のデジタル化事業を終えて -その成果と課題- (小野塚航一)	16
はじめに -デジタル化事業の意義とその重要性-	16
成果	17
課題	18
おわりに	19

第3章 開発されたシステムを支えるファンドの確立に向けて	21
「地域歴史遺産保全活用教育研究寄附金」制度	21
関連資料	22

第4章 第2回国公立大学フォーラム

「地域歴史文化の保全・継承と

広域災害に備えた大学間ネットワークの形成のために」

当日のプログラム	坂江 渉	23
主旨説明	奥村 弘	24
報告		
地域史料を取り巻く現状把握調査結果報告		
～兵庫県を事例に～	板垣 貴志	27
地域歴史遺産を保全・活用できる担い手の育成	村井 良介	28
大阪市立大学の取り組み ～一歴史教員の立場から～	佐賀 朝	30
岡山大学の事情		
～地域歴史遺産の防災、保全・継承及び「まちづくり」～	今津 勝紀	31
佐賀大学地域学歴史文化研究センターの今後	伊藤 昭弘	33
東北大学の被災歴史資料救済活動 ～2012年度の活動～	佐藤 大介	34
地域歴史文化の保全・継承に関する大学の役割		
～新潟大学の活動をケーススタディとして～	齋藤 瑞穂	38
2011.9 豪雨被害歴史資料の保全活動とその後	藤本 清二郎	39
総合討論		40
講評	宇田川 滋正	53

関連資料

兵庫県教育委員会と神戸大学大学院人文学研究科が結んだ

「地域歴史文化を担う人材の育成の方策に関する調査・研究に関する覚書」

(平成23年1月28日)

第8回「まちづくり地域歴史遺産活用講座」試行プログラムテキスト

(2012年12月1日～2日／篠山市にて)